今年度の医療従事者研修では、これまで十分にとりあげられてこられてこなかった 男児や男性への性犯罪/性暴力被害について学ぶ連続講座(全2回)を開催します。

第一部は、はりま姫路総合医療センターを会場に、3人の講師を招き

基礎的な知識についての講座をハイブリッド形式で開催します(録画を予定)。

第二部は尼崎総合医療センターにて対面による "えんたく形式" で開催します。

架空事例にもとづき課題を深掘りし、実際の診療に活用できる知識の習得と参加者同士のネットワーク構築をめざします。 貴重な機会ですので、医療従事者だけでなく、性暴力被害者対応にかかわる専門職の方も広くご参加ください。 どちらか一回のみの参加も可能です。

性犯罪・性暴力被害者に関する医療従事者専門研修(兵庫県委託事業) 令和7年度

男性への性暴力被害対応を学ぶ

対象: 性暴力被害にかかわる医療専門職、教育・保健福祉専門職、警察等

第一部 ハイブリッド形式 後日アーカイブ配信を予定

第二部 現地開催のみ

9月4日(木) 18:00-19:00

はりま姫路総合医療センター 教育研修棟

〒670-8560 兵庫県姫路市神屋町3丁目264 JR姫路駅北口から徒歩12分

12月21日(日) 14:00-17:00

尼崎総合医療センター 1F講堂

〒660-0892 尼崎市東難波町2-17-77 阪神尼崎駅から北に徒歩20分 阪急・阪神・JR各駅から阪神バスが運行しています

講 師:

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 泌尿器科 副部長 性暴力救援センター日赤なごや なごみ 副センター長

山田浩史先生 第一部 第二部

神戸大学医学部附属病院 感染症内科

飯島健太先生 第一部 第二部

立命館大学OIC総合研究機構・専門研究員、臨床心理士/公認心理師

宮崎浩一先生 第一部 第二部

島根大学副学長(SDGs・ダイバーシティ担当)

(一社)しまね性暴力被害者支援センターさひめ理事、産婦人科医/臨床心理士

河野美江先生 第二部

第二部では上記以外の講師の登壇も予定しています。

はりま姫路総合医療センター



尼崎総合医療センター



当研修会は事前申し込みが必要<u>です</u>

Googleフォームにてお申し込みいただけます。 詳しくは裏面をご覧ください。

締め切り

8月29日(金) 第二部 12月12日(金) 第一部

【主催】兵庫県

【後援】兵庫県医師会・兵庫県小児科医会・兵庫県産科婦人科学会・兵庫県泌尿器科医会・姫路市医師会・姫路産婦人科医会

男児/男性への性暴力被害対応を学ぶ お申し込み方法

現地定員50名(先着順) 締め切り第一部:8月29日(金)/第二部:12月12日(金)

①Googleフォームからのお申し込み



下記のURLよりお申し込みください。 左記のQRコードからもお申し込みいただけます。 URL:https://forms.gle/Ue9C9hP2kY71HHHg8

②FAXでのお申し込み

下記の必要事項をご記入の上、この用紙をFAX番号06-6480-1140に過	送信ください。
ご希望内容に○をつけてください(複数可) 9月4日参加(現地 ・ オンライン) ・ アーカイブ配信	・ 12月21日参加(現地のみ)
ご芳名	
お電話番号	
メールアドレス	
ご所属	
)

問い合わせ NPO法人性暴力被害者支援センター・ひょうご **\$**06-6480-1140 ☑ sshien@1-kobe.com

性暴力ってなに?



- ・自分が望まないことや、自分の気持ちと合っていないこと…
- ・いやと言いにくく仕方なく応じたこと、囂ってもなかったこと…

対等な関係でなく、本当の同意がない、すべての性的な行為は、性暴力です。

相手が知っている人でも、知らない人でも、誰であっても

責任は、性暴力をふるった側にあります。

あなたは、かけがえのない大切な存在です。

性暴力は、からだとこころを傷つけ、生活に大きな影響を与えます。

だから…

「生活」の安全を確保すること、「からだ」「こころ」の手あてが大事です。 性暴力は、周りの人にも大きな影響を与えます。周りの人のケアも大切です。

※NPO法人性暴力被害者支援センター・ひょうごのリーフレットより

NPO法人性暴力被害者支援センター・ひょうごでは、学校や医療機関、行政の相談窓口からの性暴力被害に関する「こんなときどうしたらいいの」にも対応しております。 ホットライン: 06-6480-1155 (月~金 13:00-16:30)